

一般社団法人 日本生物物理学会
平成 27 (2015) 年度 事業報告
(2015 年 5 月 1 日～2016 年 4 月 30 日)

目次

1. 事業概要

2. 各事業詳細資料

- 2-1. 学術誌・学術図書の発行(定款第四条第 1 号)
- 2-2. 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催(定款第四条第 2 号)
- 2-3. 人材育成(定款第四条第 3 号)
- 2-4. 研究業績と技術的実践の奨励と表彰(定款第四条第 4 号)
- 2-5. 関連学術団体との連携及び協力(定款第四条第 5 号)
- 2-6. 国際的な研究協力の推進(定款第四条第 6 号)
- 2-7. 普及啓蒙活動

3. 付属明細

(付属明細 1) 処務詳細資料

- ・ 総会・役員会等に関する事項
- ・ 契約・入札・他に関する事項

(付属明細 2) 会員の異動状況

(付属明細 3) 事務局の現況(2016 年 4 月 30 日現在)

1. 事業概要

主な活動は

- 1) 学術誌・学術図書(和文誌・欧文誌)の発行
- 2) 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催
 - 2-1) 第 53 回日本生物物理学会年会の開催
 - 2-2) 会員総会ワークショップの開催
- 3) 人材育成：学会年会でのキャリア支援説明会の開催
- 4) 若手奨励賞と学生発表賞について
- 5) 生物科学学会連合への参画
- 6) 国際的な研究協力の推進
- 7) 普及啓蒙活動

- 7-1) 欧文誌の名称変更
 - 7-2) Biophysics and Physicobiology の国際情報発信力強化 (科学研究費補助金)
 - 8) その他
 - 8-1) 企業勤務の会員の理事への就任
 - 8-2) 学会事務の中西印刷株式会社への業務委託
 - 8-3) 学会理事会での TV 会議の活用
- である。以下にそれぞれを概説する。

1) 学術誌・学術図書 (和文誌・欧文誌) の発行
和文誌『生物物理』第 55 巻 3 号~6 号、Supplement1-1 (年会プログラム集)・1-2 (年会予稿集: 電子版のみ)、第 56 巻 1 号・2 号を刊行した。
欧文誌 Biophysics and Physicobiology (旧 Biophysics) Vol.12、Vol.13 を刊行した。

2) 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催

2-1) 第 53 回日本生物物理学会年会の開催

2015 年 9 月 13 日 (日)~15 (火)、金沢大学 自然科学本館において、第 53 回日本生物物理学会年会を開催した。参加者総数: 1,589 名、演題登録状況: 一般演題 902 件 (口頭 212 件、ポスター 690 件)、シンポジウム: 243 件 (若手奨励賞招待講演含む)であった。

2-2) 会員総会ワークショップの開催

昨年度に引き続き、学会年会における会員総会の直後に、生物物理学の主題の一つである生命のメカニズムを解析・操作する道具の開発とその応用として、会員総会ワークショップ「生物物理が解明する生命のメカニズム」を企画・開催した。

3) 人材育成: 学会年会でのキャリア支援説明会の開催

研究者・学生の企業におけるキャリアアップを支援することを目的とし、4 つの企業による「合同説明会ランチョンセミナー」を年会中に開催し、個別の相談会も開催した。

4) 若手奨励賞と学生発表賞について

男女共同参画・若手支援委員会において、学会年会での若手奨励賞における「講演賞」の新設と、学生を対象とする「学生発表賞」を新設することが検討され、平成 28 年度の年会から実施されることとなった。

5) 生物科学学会連合への参画

生物科学学会連合定例会議に継続して出席した。4 月に発生した熊本地震に関する声明に賛同し連名した。

6) 国際的な研究協力の推進

学会のグローバル化を図るため、つくば年会には海外とのジョイント・シンポジウムを3件(中国、韓国、オーストラリア)開催することとして準備を行った。また、21th IUPAB International Biophysics Congress(2023年)の開催誘致活動についても引き続き考慮することとした。これら学会のグローバル化のため、後述する理事会へのTV会議導入により削減できた旅費分を考慮して、平成28年度の学会予算項目に「グローバル化推進費」を加え、100万円の予算を割り当てた。

7) 普及啓蒙活動

7-1) 欧文誌の名称変更

PubMed Central(PMC)への登載申請にあわせて、他誌との重複を避けるため、平成27年7月、従来の欧文誌「Biophysics」の名称を「Biophysics and Physicobiology」に変更した。

7-2) Biophysics and Physicobiology の国際情報発信力強化(科学研究費補助金)

日本学術振興会に申請した平成27年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)が採択された(単年度、340万円)。この補助金を活用し、海外から投稿された論文の掲載料免除、年会時以外の編集委員会の開催、編集委員長支援者の雇用、「abstractを魅力的に」プロジェクトなど、Biophysics and Physicobiology 活性化のための取組を実施した。

8) その他

8-1) 企業勤務の会員の理事への就任

新規事業のサポートや企業と大学マッチング等役割を担っていただくため、企業勤務の会員が1名、平成27・28年度の理事に就任した。

8-2) 学会事務(庶務業務)の中西印刷株式会社への業務委託

学会事務(庶務業務)を株式会社中西印刷に委託することとした。また、会長室は学会会長が主宰し、平成27-28年度については大阪府吹田市の大阪大学蛋白質研究所内に、前述の科研費に関連する欧文誌編集業務を主に行うための事務員を1名雇用して、会長室機能を果たした。

8-3) 学会理事会でのTV会議の活用

学会理事会へのTV会議システムの活用を2015年12月12日の理事会から始め、関西地区は大阪大学産業科学研究所に、東京地区は東京大学分子細胞生物学研究所に集まり、他の地区の理事はそれぞれ自身のPCから中心となる大阪大学産業科学研究所へ接続することによって理事会を開催した。また、男女共同参画・若手支援委員会と出版委員会もTV会議システムを利用し、それぞれの委員でない理事はオブザーバとして委員会に参加した。このTV会議システムの利用により、理事会へ参加するための旅費が大幅に減額された。なお、face-to-faceによる理事会は、最低限2回(定時社員総会後の理事会および学会年会時の理事会)にて実施することとしている。

2. 各事業詳細資料

2-1. 学術誌・学術図書の発行（定款第四条第1号関連）																	
2-1-1. 邦文誌「生物物理」	<p>・第55巻3号～6号・第56巻1号・2号を刊行した。（A4版・隔月刊） 55巻3号 14記事60ページ 55巻4号 15記事67ページ 55巻5号 13記事63ページ 55巻6号 12記事76ページ 56巻1号 14記事84ページ 56巻2号 16記事73ページ</p> <p>【ダウンロード数（2015年5月～2016年4月）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>今期刊行号</th> <th>バックナンバー</th> <th>総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学会 PDF 版</td> <td>6,231</td> <td>3,071</td> <td>9,302</td> </tr> <tr> <td>J-STAGE 版</td> <td>13,350</td> <td>1505,09</td> <td>163,859</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19,581</td> <td>153,580</td> <td>173,161</td> </tr> </tbody> </table> <p>・第55巻はSupplement1-1（年会プログラム集：印刷体3500部）、Supplement1-2（年会 予稿集：電子版のみ）も発行した。</p> <p>【冊子体購読数】 機関会員：51、購読（書店経由）：58、購読会員：10（内名誉会員4） 上記に加え、賛助会員8、寄贈会員11にも送付している。</p>		今期刊行号	バックナンバー	総計	学会 PDF 版	6,231	3,071	9,302	J-STAGE 版	13,350	1505,09	163,859	合計	19,581	153,580	173,161
	今期刊行号	バックナンバー	総計														
学会 PDF 版	6,231	3,071	9,302														
J-STAGE 版	13,350	1505,09	163,859														
合計	19,581	153,580	173,161														
2-1-2. 欧文誌「BIOPHYSICS」	<p>Vol.12 (2015.4-12) Regular Article 12、Review Article 3、Note 1</p> <p>Vol.13 (2016.1-4) Regular Article 4、Review Article 2</p> <p>【ダウンロード数（2015年5月～2016年4月）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>今期刊行号</th> <th>バックナンバー</th> <th>総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,091</td> <td>24,207</td> <td>27,298</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平成27年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費-国際情報発信強化）が採択（期間1年）されたため、以下を実施した。 1. 海外から投稿された論文の掲載料免除 2. 編集支援体制の強化（年会時以外の編集委員会の開催、編集業務支援者の雇用） 3. 「アブストラクトを魅力的に」プロジェクト</p> <p>・名称を「Biophysics and Physicobiology」に変更した。</p>	今期刊行号	バックナンバー	総計	3,091	24,207	27,298										
今期刊行号	バックナンバー	総計															
3,091	24,207	27,298															
2-1-3. 学会ホームページ	<p>・欧文誌改称に伴い、Biophysics and Physicobiology のページを刷新した。</p>																
2-2. 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催（定款第四条第2号関連）																	
2-2-1. 年会運営	<p>・以下の年会を開催した。 2015年第53回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：安藤 敏夫 氏（金沢大） 日時：2015年9月13日～15日 場所：金沢大学角間キャンパス</p> <p>・以下の年会の開催準備を行った。 1) 2016年第54回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：豊島 陽子 氏（東大） 日時：2016年11月25日～27日</p>																

	<p>場所：つくば国際会議場</p> <p>2) 2017年第55回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：山縣 ゆり子 氏（熊本大） 日時：2017年9月19日～21日 場所：熊本大学</p> <p>3) 2018年第56回日本生物物理学会年会 年会実行委員長：沈 建仁 氏（岡山大） 日時：検討中 場所：岡山大学</p> <p>・年会の発表区分に光生物；光遺伝学・光制御（英語名：Photobiology-Optogenetics, Optical Control）がつくば年会から加わることを承認した。</p>
2-2-2. 総会ワークショップ	<p>・以下の総会ワークショップを開催した。</p> <p>第2回会員総会ワークショップ「生物物理が解明する生命のメカニズム」 日時：2015年9月14日（月）12:20-13:40 会員総会中 場所：金沢大学角間キャンパス H会場 形式：講演会 講演者：沈 建仁 氏（岡山大）、山本 雅貴 氏（理研RSC）、 庄司 光男 氏（筑波大）</p>
2-2-3. 各種講演会	39件の講演会の協賛・共催・後援を行った。
2-3. 人材育成（定款第四条第3号関連）	
2-3-1. 男女共同参画・若手支援活動	<p>・男女共同参画・若手支援シンポジウム 以下のシンポジウムを実施した。 「『ポストドク問題』って言わないで！—任期付き雇用問題の解決を目指して—」 日時：2015年9月14日11:30～12:20（第53回年会会期中） オーガナイザー：日本生物物理学会男女共同参画・若手支援委員会 グループディスカッション</p> <p>以下のシンポジウムの企画・準備を行った。 日時：2016年11月27日を予定（第54回年会会期中）</p> <p>・第53回年会において、キャリア支援説明会として、4つの企業による合同説明会ランチオンセミナーおよび個別の相談会を開催した。</p> <p>・若手奨励賞に加え、優秀な若手招待講演者に授与する「若手招待講演賞」の新設と、学生発表賞の新設が検討され、第54回年会から実施されることとなった。</p> <p>・若手の会2016夏の学校への資金援助（20万円）を決定した。</p>
2-3-2. 男女共同参画学協会連絡会への参画	<p>・男女共同参画学協会連絡会 運営委員会第12期第3回、第14期第1回、第2回へ出席した（2015年8月31日、12月15日、2016年3月31日）。</p> <p>・第13回男女学協会連絡会シンポジウムに参加、ポスター発表を行った。</p>
2-4. 研究業績と技術的実践の奨励と表彰（定款第四条第4号関連）	
2-4-1. Biophysics and Physicobiology 論文賞	<p>・第4回Biophysics and Physicobiology 論文賞 12報の推薦論文について審査した結果、以下の1論文を第4回Biophysics and Physicobiology 論文賞とし、第53回年会で授賞した。</p> <p>Tomohiko Hayashi, Azuma Matsuura, Hiroyuki Sato and Minoru Sakurai Full-Quantum chemical calculation of the absorption maximum of</p>

	<p>bacteriorhodopsin: a comprehensive analysis of the amino acid residues contributing to the opsin shift BIOPHYSICS Vol.8 pp.115-125 (2012).</p> <p>・第5回 Biophysics and Physicobiology 論文賞 7報の推薦論文について、審査を開始した。</p>
2-4-2. Biophysics and Physicobiology Editors' Choice Award	<p>・以下の3報の論文を第2回 Editors' Choice Award 受賞論文とし、第53回年会で授賞した。</p> <p>Yoichi Yamazaki, Tomoko Nagata, Akihisa Terakita, Hideki Kandori, Yoshinori Shichida, Yasushi Imamoto Mapping of the local environmental changes in proteins by cysteine scanning BIOPHYSICS, Vol. 10, pp.1-7 (2014)</p> <p>Hideki Itoh, Kotaro Oyama, Madoka Suzuki, Shin'ichi Ishiwata Microscopic heat pulse-induced calcium dynamics in single WI-38 fibroblasts BIOPHYSICS, Vol. 10, pp. 109-119 (2014)</p> <p>Hiroshi Sunada, Satoshi Takigami, Ken Lukowiak, Manabu Sakakibara Electrophysiological characteristics of feeding-related neurons after taste avoidance Pavlovian conditioning in Lymnaea stagnalis BIOPHYSICS, Vol. 10, pp.121-133 (2014)</p>
2-5. 関連学術団体との連携及び協力 (定款第四条第5号関連)	
2-5-1. 生物科学学会連合への参画	<p>・第12回、第13回定例会議へ出席した(2015年10月3日、2016年3月5日)。</p> <p>・熊本地震に関する声明に賛同した。</p>
2-5-2. 日本学術会議生物物理学分科会への協力	<p>・基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同生物物理学分科会および基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 IUPAB 分科会第23期第2回・第3回へ出席した。(2015年5月27日、2016年1月15日)</p>
2-5-3. 他学会との連携	<p>・日本物理学会、日本顕微鏡学会会員の参加発表奨励による連携強化を行った。</p>
2-6. 国際的な研究協力の推進 (定款第四条第6号関連)	
2-6-1. IUPAB (国際純粋および応用生物物理学連合) 関連	<p>・21st IBC (2023年) の日本開催誘致活動については継続検討事項とした。</p> <p>・IUPAB Taskforce Applications of Biophysics として1件の記事を公開した。</p>
2-6-2. ABA (アジア生物物理学連合) 関連	<p>・第54回日本生物物理学学会年会(2016)において、海外とのジョイント・シンポジウムを3件(中国、韓国、オーストラリア)開催することとして準備を行った。</p>
2-6-3. BPPB Editorial Board 海外研究者の増加	<p>・Biophysics and Physicobiology IF 獲得を目指し Editorial Board の再編を検討し、海外研究者2名に就任を依頼し了解された。</p>
2-7. 普及啓蒙活動	
2-7-1. 女子中高生のための関西科学塾への協力	<p>参加者への景品として、学会クリアファイルを提供した。</p>
2-7-2. 物理チャレンジ・国際物理オリンピックへの協力	<p>学会ウェブサイトニュース欄に実施要項を掲載した。</p>
2-7-3. サイエンス・キャッスル等啓蒙イベントへの出展協力	<p>女子中高生夏の学校(2015年8月)にて、参加者に学会クリアファイル、学会パンフレットを配布した。男女共同参画・若手支援委員の理事3名がイベントに参加し、参加者への説明を行った。今年度はサイエンス・キャッスルへの参加は見送った。</p>

2-7-4. 公開講座	第 53 回年会において市民講演会を開催した 日時：2015 年 9 月 12 日（土） 会場：石川県教育会館ホール 講演者：永井 健治 氏（大阪大学産業科学研究所）
2-7-5. 文部科学省科学技術週間 一家に 1 枚ポスター	文部科学省の平成 26 年度科学技術週間 一家に 1 枚ポスター「動く！タンパク質」を、女子中学生夏の学校、女子中高生のための関西科学塾にグッズ提供として送付した。 同ポスターの英語版をオーストラリア生物物理学会に送付し、2015 ASB Meeting での配布を依頼した。

3. 付属明細

（付属明細 1）処務詳細資料
総会・役員会等に関する事項

3-1-1. 総会（開催日）	2015 年 6 月 27 日（定時社員総会）
3-1-2. 会計監査会（開催日）	2015 年 6 月 3 日
3-1-3. 理事会（開催日）	2015 年 6 月 27 日、9 月 13 日、12 月 12 日、2016 年 2 月 20 日、4 月 23 日 ・上記のうち、2015 年 12 月 12 日、2016 年 2 月 20 日、4 月 23 日に開催された理事会については TV 会議システムを活用した。 メール審議 2015 年 6 月 9 日 第 4 回 BIOPHYSICS 論文賞 6 月 9 日 H26 年度第二期事業報告書・決算報告書の承認 7 月 14 日 平成 28 年度文部科学省若手科学者賞 7 月 16 日 キャリア支援説明会参加企業の待遇について 7 月 31 日 H30 年会開催地区について 8 月 31 日 BPPB クリアファイル製作について 11 月 9 日 名誉会員逝去時の学会対応について 2016 年 1 月 8 日 会誌編集委員候補の推薦について 理事の選出について ・平成 27・28 年度理事に、企業勤務の会員が一名就任した。
3-1-4. 委員会（開催日）	・出版委員会 2015 年 6 月 27 日、12 月 12 日、2016 年 2 月 20 日、4 月 23 日 ・男女共同参画若手支援委員会 2015 年 6 月 27 日、9 月 14 日、12 月 12 日、2016 年 2 月 20 日、4 月 23 日 （出版委員会、男女共同参画若手支援委員会ともに、2015 年 12 月 12 日、2016 年 2 月 20 日、4 月 23 日開催の委員会は TV 会議システムを利用し、それぞれの委員でない理事はオブザーバとして委員会に参加した。） ・会誌編集委員会 2015 年 6 月 9 日、9 月 12 日、2016 年 3 月 30 日

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Biophysics and Physicobiology 編集委員会 2015年9月13日、12月26日 ・ HP 編集委員会 2015年9月12日 ・ 賞選考委員会（メール審議） 2015年 <ul style="list-style-type: none"> 6月1日 育志賞 8月5日 朝日賞 8月24日 上原賞・井上學術賞受賞候補者推薦 9月11日 島津賞・木原賞・内藤賞・東レ科学技術賞 10月5日 東レ科学技術研究助成 11月13日 日本光生物学協会賞 2016年 <ul style="list-style-type: none"> 1月19日 藤原賞 2月5日 山田科学振興財団研究援助 <p>上記の各賞に候補者を推薦した。</p>
--	--

契約・入札・他に関する事項

- ・ 主な新規契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の種類	期間等
2015年12月1日	大阪大学総長	賃貸契約	2015年12月1日～2016年3月31日
2016年4月1日	大阪大学総長	賃貸契約	2016年4月1日～2017年3月31日

- ・ 入札に関する事項（なし）
- ・ その他の事項（なし）

（付属明細2）会員の異動状況

会員種別	会員数		増減
	2015年4月30日現在	2016年4月30日現在	
正 会 員	一般会員	2,266	2,205 ▲ 61
	学生会員	982	947 ▲ 35
	シニア会員	35	46 11
名誉会員	23	23	0
機関会員	50	51	1
賛助会員	9	8	▲ 1
総計	3,365	3,280	▲ 85

今期の新規入会者数

- 一般会員 95名（うち、紹介キャンペーン利用者 6名）
- 学生会員 227名

（付属明細3）事務局の現況（2016年4月30日現在）

会長室	アルバイト1名
-----	---------